

目次

□巻頭言 エネルギーについて大永勇作/1
 電源の多様化促進対策松尾成美/3
 水力の積極的活用と水力緊急開発合田昌満/8
 地熱発電の開発伊藤栄一/12

グラビヤ——電源設備の多様化を目指して

火力発電の開発推進と環境保全広瀬定康/15
 原子力発電の開発推進と安全対策向準一郎/18
 超長期電源に対する技術開発の展望竹野正二造/22
江崎弘造
 □随想 最近思うこと三村誠三/30
 南原発電所サージタンクの導坑掘削光野千里/34
 滑動型わく工法によるサージタンクの巻立高瀬元博/45
九州電力・大平発電所の施工例

小断面ワンマンコントロールシールド工法の概要
伊藤和五郎/52

□建設機械化研究所抄報 <No. 108>
 316. サカイ SV 100 型振動ローラ性能試験/59
 317. TCM 45 B 型トラクタショベル性能試験/60

□文献調査
 文献目録紹介広報部会・文献調査委員会/63

□支部だより
 昭和 49 年度除雪機械展示実演会開催北陸支部/67

□統計
 建設工事受注額・建設機械受注額
 および建設機械卸売価格の推移調査部会/70

行事一覧/71

編集後記(合田・高橋)/72

——国産建設機械主要諸元表集録——

◀表紙写真説明▶

ラフターラインクレーン

TR-151

株式会社 多田野鉄工所

本機は狭い場所や足場の悪い現場に適した最大つり上げ荷重 15t のクレーンである。主な特長としては、2輪、4輪および蟹走行の3方式ステアリングの採用で最小回転半径は 5m、また、強力な駆動力を伝えるため2輪と4輪駆動の切換えができるものであり、堅ろうなフレームと建設作業用大型特殊タイヤを使用しているので過酷な作業に耐え、バイプロハンマ等の利用も可能である。さらに一般のトラッククレーンと異なり、つり上げ走行ができるように設計されている。土木工事ははじめ、プレハブ建築や工場内等の狭い現場での重量物つり上げに適したクレーンである。